



【図書館歳時記】「丹後沢の菖蒲（しょうぶ） ——俳句集『桜川』から」

磐城平藩、内藤家第三代藩主、内藤義概（風虎、風山、風鈴軒）が松山玳也（きゅうや）に命じ、編纂させた俳句集『桜川』（延宝 2（1674）年）には 7,000 句ほどの俳句が所収されているが、そのなかには勿論、義概自身の作品も数多く所収されている。その一つに次の句がある。

「ところ得て 引くや菖蒲も 丹後沢」

丹後沢は磐城平城本丸の北西にある大きな沼。江戸時代の初め、磐城平城築城の際には人柱が立ったといわれている。その丹後沢の丹後という呼び名は端午の節句の端午と同音で、相通じるものがある。だから、丹後沢から刈り取った菖蒲を端午の節句の災い除けに用いるのは、当を得たというか、的を射たことであるというのである。

いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「達人 吉沢久子 人生のぜいたく」

吉沢久子 || 著 主婦の友社



著者の吉沢久子さんは、99 歳になりましたが、甥などの手助けを受けながら、一人暮らしを楽しんでいます。この本では、これまでの人生経験や、ご主人を亡くしてから始まった「一人暮らし」の楽しみ方について丁寧に書かれています。

「ぜいたく」という言葉を聞くと、「おカネを掛けて遊ぶ」というイメージがありますが、この本では「おカネ」を掛けなくとも、ささやかな日常の中から楽しみを上手に見つけることや時間を有効に活用することこそが、本当の「ゼイタク」であることを書き綴っています。ぜひ若い方に読んでいただきたい一冊です。

「被災ママに学ぶ ちいさな防災のアイデア 40」

アベナオミ || 著 学研プラス



今でも、あの日のことは忘れられないという著者は、宮城県在住のイラストレーターで、小さい子どもを持つ母親でもあります。東日本大震災の被災体験を元に、防災をテーマにコミックエッセイなどを出版してきましたが、この本では、「子どもの成長に合わせて防災グッズの見直しが必要」や「防災は、いきなり100を目指すとは息切れしてしまう」など、経験者ならではの現実的なアドバイスや楽しみながら防災を意識する方法を、イラストを添えてわかりやすく紹介しています。子育て真っ最中のママたちに読んでほしい本です。

「江戸落語図鑑 2」

飯田泰子 || 著 芙蓉書房出版



この本では、実際の古典落語の 50 席に合わせ、江戸期の版本から 320 点の図版を掲載し、落語国の町並みとして古典落語の舞台となった江戸の町の姿を紹介しています。掲載されている噺を読みつつ、その情景などを容易に思い浮かべることができるほか、噺の舞台となる地域を目安に 6 つの章に分け、各章の始まりには案内文に江戸の水路を示した小図と図版を添えることで、地域のあらましが分かるよう工夫されています。どんな方が読んででも落語の世界のイメージが想像できるおススメの一冊です。

「いわきの桜めぐり」

かたかごの会 || 著 かたかごの会



この本では、市内 62 カ所の桜の名所や名木、古木がカラー写真と丁寧な説明文で紹介されています。植物観察を通して自然に親しむ活動を続ける「かたかごの会」が、平成 21 年に、現地調査と撮影がスタート、東日本大震災で中断しましたが、平成 26 年に再開し、本年ようやく刊行となりました。実に完成まで 8 年の歳月を要した労作です。今年のいわき市の開花予報は 4 月 7 日とのことですが、お花見を計画している方には、この本は、行き先を決めるガイドブックとして役に立つことでしょう。

貸出 TOP10

1	虚ろな十字架	東野圭吾 著	光文社
2	人魚の眠る家	東野圭吾 著	幻冬舎
3	羊と鋼の森	宮下奈都 著	文藝春秋
4	三鬼	宮部みゆき 著	日本経済新聞出版社
5	豆の上で眠る	湊かなえ 著	新潮社
6	ナミヤ雑貨店の奇跡	東野圭吾 著	角川書店
7	祈りの幕が下りる時	東野圭吾 著	講談社
8	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
9	天才	石原慎太郎 著	幻冬舎
10	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋

予約 TOP10

1	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
2	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
3	騎士団長殺し 第1部	村上春樹 著	新潮社
4	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
5	火花	又吉直樹 著	文藝春秋
6	危険なビーナス	東野圭吾 著	講談社
7	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
8	騎士団長殺し 第2部	村上春樹 著	新潮社
9	恋のゴンドラ	東野圭吾 著	実業之日本社
10	みかづき	森絵都 著	集英社

知っていますか？便利な図書館機能

【新米パパ・ママの味方！赤ちゃんパックをご利用ください】

市立図書館では、赤ちゃんへのおすすめ絵本を5冊ずつパックにした

「赤ちゃんパック絵本」を作り、貸出しています。バッグに入っている絵本はどれも初めての絵本として楽しめるもので、市内6図書館すべてで貸出ができますので、赤ちゃんにどんな本を読んでいいかわからないという方はぜひご利用ください。なお、赤ちゃんパック絵本は専用のバッグに入れたまま貸出・返却をします。また、セットでない絵本等は貸出・返却の際には専用バッグには入れないようご注意ください。



シリーズ 数字で見るいわきの図書館

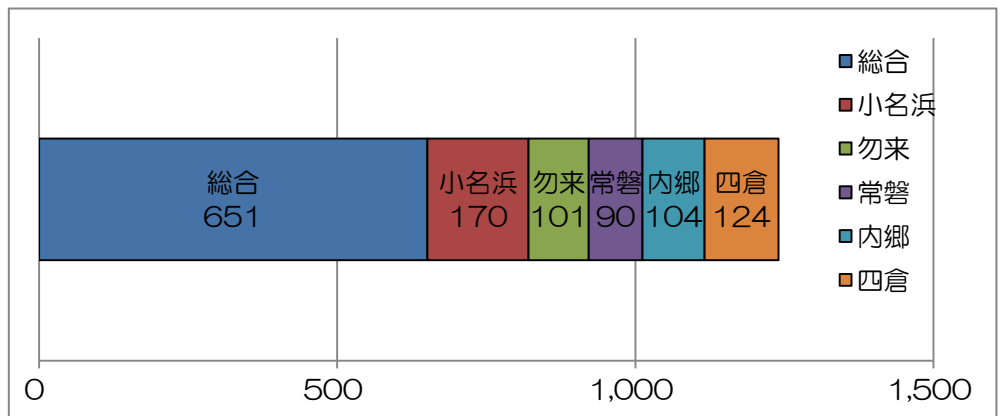
【赤ちゃんパック絵本の年間貸出セット数】

1, 240セット

赤ちゃんへのおすすめ絵本を5冊ずつパックにした「赤ちゃんパック絵本」は、各市立図書館で好評を得ています。

専用のバッグごと窓口にお持ちいただくだけなので、絵本を選ぶ時間がないパパやママに、とても便利です。

ぜひご利用ください。



図書館豆知識

図書館では「子ども読書の日」記念事業を行います！

子ども読書の日は、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」の中で毎年4月23日と定められています。総合図書館では、子どもの読書活動に関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、記念事業として1歳までの赤ちゃんとその保護者を対象に「あかちゃんへのおはなしかい」を4月22日（土）に開催します。「あかちゃんへのおはなしかい」では、本のよみきかせや手あそびなど、子どもと大人の両方が楽しむことができます。ぜひ、総合図書館4階よみきかせひろばへお越しください！

